

(様式第4号)

# くまもとCひと・まち・いきもんネットワーク活動報告書

平成31年 4月30日


熊本市長 様

報告者 住所 熊本市中央区神水本町1-67

氏名 大住 和佑



くまもとCひと・まち・いきもんネットワーク制度要綱第5条の規定により、くまもとCひと・まち・いきもんネットワーク活動報告書を提出します。

ふりがな		みずとみどりのわーきんぐぐるーぷ		登録 番号	第9号
団体名		水と緑ワーキンググループ			
代表者	職名	代表		所 属	<input checked="" type="checkbox"/> 市民活動団体 <input type="checkbox"/> 事業者 <input type="checkbox"/> 学校 <input type="checkbox"/> 行政機関 <input type="checkbox"/> その他 ( )
	ふりがな	おおすみ かずこ			
	氏名	大住 和佑			
内容 (活動名、日時、場所、参加人数、活動内容等)		 <p>小学生を中心に、その家族と一緒に、動植物観察会や水質調査、江津湖の地質探検、などの活動を行っている。主な活動地は江津湖だが、江津湖に流入する地下水をさかのぼって、上流域の農家さんと交流し、その意味を伝えている。安心安全な農産物は、安心安全なわたしたちの飲み水になること。それは生物多様性の恵みだということを知らせている。</p>			

- ・ 記入欄が足りない場合、この用紙をコピーして記入してください。
- ・ 活動報告書の記載事項を満たす内容であれば、別様式でも活動報告書とみなすことができます。

○水質調査（6月10日、参加人数・講師1名、小学生15人、おとな11名、スタッフ7名）

毎年6月に、キット（COD）による水質調査と生物観察会をセットにして実施。8年になる。今年は、実施日が雨だったために、江津湖の各地点からバケツに水を汲み、熊本市総合体育館の研修室で行った。地下水アドバイザーの田中伸廣さんから、地形図や石などを見ながら、江津湖で湧水するメカニズムや地質と水質の関係などの話をうかがう。専門用語を使つての話だったが、後のアンケートで、きちんと理解していることが分かった。キットなのでおおよそのことしかわからないが、それでも0~2mg/lという値はきれいな水であることには違いなく、江津湖の水に誇りを持つきっかけにしてほしいと実施している。



○上流域の無農薬水田の生き物調査（6月と11月）（講師・研究者2名、スタッフ2名）（田んぼ提供者、宮北ゼミ学生）

熊本学園大学宮北ゼミの学生諸君と合同で実施。（トノサマガエル、イモリほかの両生類やスクミリンゴガイ、ヤマカガシほか観察する。



○スマレの調査（3月~）（スタッフ7名）

今年度から始めることにした。まず、スマレについての学習を行ったが、手探りの状態。観察記録用紙も、素敵なものを作ったが、実際に初めて見ると、手直しが必要なことに気付く状態。スマレを見つけては図鑑で調べている。江津湖周辺から始めているが、LINEやメール、フェイスブック（これの充実が課題）で広く熊本市の全域から集めて、スマレ地図を作りたいと考えている。

